

今後の対策（案）について

➤ 被害防除対策

- ① 音波忌避装置の効果確認
 - ・漁港内の生け簀において、アザラシへの忌避効果を持続させる方法を検証する。
 - ・秋定置期間中、定置網（1ヶ統・1網）に装着し、効果検証を行う。
- ② 改良した被害防除網の効果確認
 - ・昨年度、被害防除に用いた格子網（20×20cm、ダイニーマ製）を、より確実にアザラシの侵入を防除できるように改良した格子網（18×18cm、ダイニーマ製）をえりも岬漁港の定置網（1ヶ統・3網）に装着し、効果検証を行う。

➤ 調査研究等（昨年度より変更のあるもの）

- ① 防除用格子網の時空間的展開に向けて
北海道大学のご協力のもと、格子網の種類をかえてサケの忌避行動を確認する。
- ② 夏期のアザラシ行動圏の把握について
6月にGPS装置を装着した個体（成獣1、幼獣1）の行動圏調査を実施中。
- ③ 客観的な上陸個体数・年齢構成の把握に向けて
環境省ドローンによる上陸個体数調査を高頻度で実施中。
※生息頭数把握のためのモニタリング方法については、作業部会で検討。
- ④ タコ漁被害の把握
漁業者、漁協にご協力いただき、被害アンケートをとりまとめる。

➤ 個体群管理

- ① 捕獲頭数
 - ・捕獲目処頭数 140 頭の達成が困難な場合、秋定置期間中における捕獲期間の延長、刺し網等を用いた捕獲を行う。
 - ・捕獲頭数が 140 頭に達し、一方、混獲頭数が想定 73 頭より少なくなることが見込まれる場合、平成 30 年度への積み残しを減らすため、追加的な捕獲を行う。
- ② 捕獲方法【成獣を優先的に捕獲できる方法を検討する】
 - ・定置網を用いた捕獲：秋定置期間中、えりも岬漁港の定置網（1ヶ統・1網）に、漏斗式格子網等を装着し捕獲する。
 - ・刺し網等を用いた捕獲：爆竹を併用した刺し網等を試行し、亜成獣以上を狙った捕獲を実施する（捕獲された幼獣は原則として、調査研究のため放獣する）。

⇒別紙、捕獲方法選択に係る考え方のフロー（案）

捕獲方法選択に係る考え方のフロー(案)

